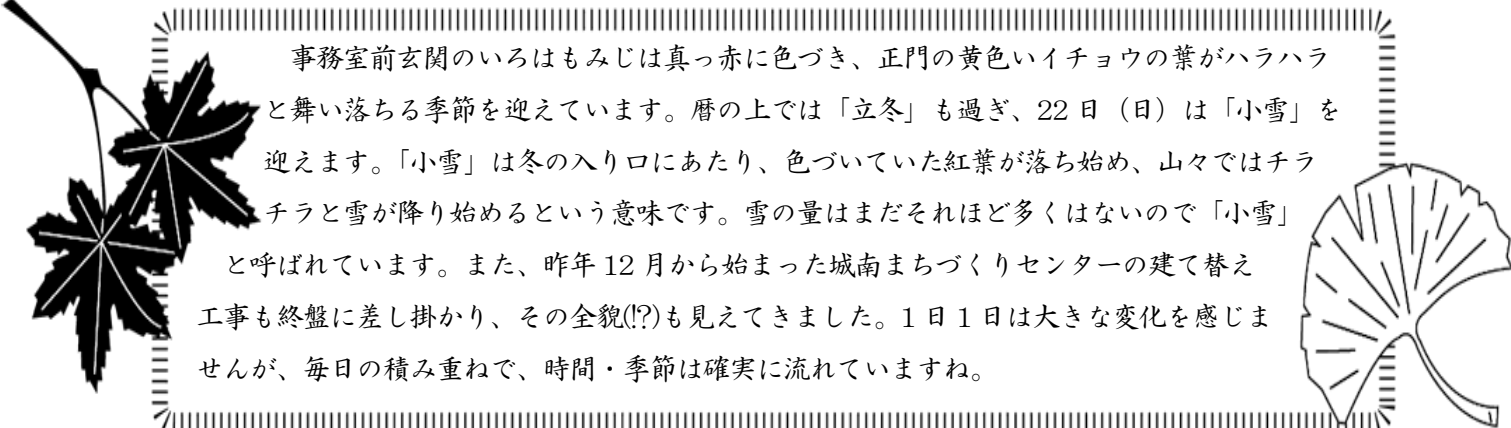


希望の歌

No.6 令和 2年 11月 17日 文責 加藤



事務室前玄関のいろはもみじは真っ赤に色づき、正門の黄色いイチョウの葉がハラハラと舞い落ちる季節を迎えています。暦の上では「立冬」も過ぎ、22日(日)は「小雪」を迎えます。「小雪」は冬の入り口にあたり、色づいていた紅葉が落ち始め、山々ではチラチラと雪が降り始めるという意味です。雪の量はまだそれほど多くはないので「小雪」と呼ばれています。また、昨年12月から始まった城南まちづくりセンターの建て替え工事も終盤に差し掛かり、その全貌(?)も見えてきました。1日1日は大きな変化を感じませんが、毎日の積み重ねで、時間・季節は確実に流れていますね。

大健闘の走り 県中体連駅伝大会 《11月12日(木) 於 えがお健康スタジアム》

10月に行われた市中体連駅伝大会を見事優勝で突破し、県大会に出場した男子駅伝チーム11人のメンバーが、今回も気迫あふれる素晴らしい走りを見せてくれました。11月を感じさせない高い気温の中、周回コースを走るのがどれだけしんどいか…しかし、どんなにつらくきつい時もそれを感じさせない頼もしい表情で走る選手の姿は健在で、堂々の12位という結果を残しました。走る前のストレッチ、アップをしている選手の姿も、学校で見せる顔とは一味も二味も違って見え、短い期間で大きく成長した足跡を感じることができました！

三年生へ 試験で試されるもの
 二学期はテストばかり受けているような気がしませんか。ついこの前、共通テストが終わったと思ったら、昨日・今日と後期中間テスト、息つく暇がありませんね。でも今は、一生のうちにならば何度か訪れる「必死になるとき」の一つなのだと思います。これまでは、ここに住んでいるから○
 ○小学校、△△中学校と、進む道が決められていました。しかし、中学卒業後、皆さんは自分の進む道を自分の力で切り開かねばなりません。
 ある先生の学級通信にこんな言葉がありました。『集団で授業を受ける(よき)を活かしていかないと、「学ぶ喜び」も「クラスと個人の成長」も低下していきます。みんなが自分の合格と同じように友達の合格も目指し、とにかく集中してやっつけていきましょう』と。
 試験で試されるものは、その人が持っている全ての力です。それはただ知識の量だけではなくて、日頃の落ち着いた生活のまとめとして試されるものです。テストの答案の内容、字の書き方、態度。そして、それらは一朝一夕に身に付くものではありません。試験の時だけ、大事な時だけの考え方は通用しません。どの場面を見られても、いつもI am OK.でいられるような、そんな毎日を通す中から自然に身に付いていくものなのです。応援しています！

11月は「心かがやけ月間」です。これは、平成19年度から11月を「心かがやけ月間」として、全市的に道徳教育の推進に取り組むとともに、あいさつ運動やボランティア活動などを展開し、学校・地域がそれぞれの役割を果たしながら、同じ方向で子どもたちを育てていくきっかけにするというものです。11月5日(木)学校では外部より講師を招いて1年生と3年生で道徳の研究授業を行いました。私たち教師全員が参加し、道徳の授業について研修を深めたところです。また、2年生は「一人一花運動」を展開しています。勤労体験学習(ボランティア活動)の一つとして、生徒一人一人が種から苗を育て、プランターに移し愛情たっぷりに育てています。現在きれいな花を咲かせ教室のベランダに飾っています。12月に入ってから地域のいろんな施設に届ける予定です。地域のいろんな場所で、生徒が心を込めて育てた花に出会うことと思います。楽しみにされています。